

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第535号 令和3年9月・10月



『初秋の富士』 松原 貞一

## 目 次

	頁		頁
1) 令和三年度西多摩医師会 定時社員総会にあたって	玉木一弘 … 2	7) 連載企画	奥村 充 … 10
2) 2021年度総会報告	土田大介 … 3	8) 広報だより	小高哲郎 … 11
3) 保健所だより	西多摩保健所 … 3	9) 理事会報告	広報部 … 12
4) 専門医に学ぶ	横山晶一郎 … 5	10) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 15
5) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	野本正嗣 … 8	11) お知らせ	事務局 … 18
6) 学術講演会予定	学術部 … 9	12) 表紙のことば	松原貞一 … 19
		13) あとがき	鹿児島武志 … 19

# 令和三年度 西多摩医師会定時社員総会にあたって



西多摩医師会長 玉木一弘

コロナ禍の中本会活動へのご協力、総会へのご出席に心より感謝申し上げます。

2020年令和二年度事業は、引き続きコロナ禍対応に翻弄されざるを得ませんでした。振り返りますと、当初は西多摩医療圏としての俯瞰的かつ効率的なコロナ対応医療体制構築をと、発想しましたが、対応の主体が国・都・保健所・基礎自治体と錯綜し円滑に同期されず、西多摩8市町村毎の地域事情に応じた対応を医師会としても迫られました。

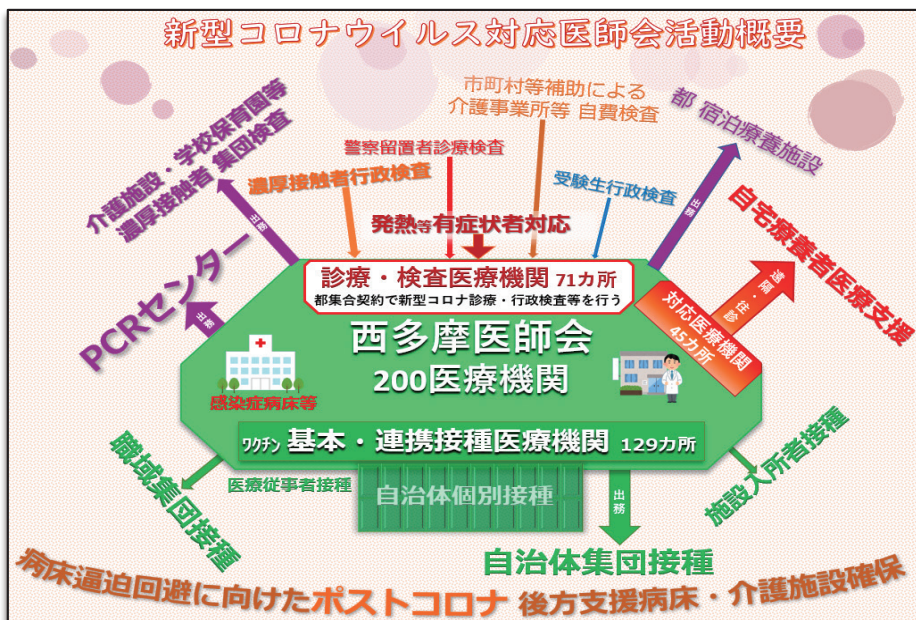
PCRセンターに始まり、水際対策、診療・検査医療機関運営、連休・年末年始診療体制構築、本年1月の第3派での療養体制逼迫への対応、介護施設や乳幼児施設等のクラスター対応、ワクチン接種、そして自宅療養者支援と、各地区会員の皆様の度重なるご負担ご尽力に、心底より御礼申し上げます。

現況では、現役世代や若年層へのワクチン接種完遂には至らず、第3派を凌駕する変異株による感染拡大が懸念される中、オリパラの影響への対応を鑑みますと、度重ね新たなご協力をお願いすることになりかねませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて総会事項に立ち返ります。2020年度事業報告でお示ししますが、コロナ禍により市民講座や健康教室等、地域啓発活動につきましては、中止・縮小・資料配布への変更を余儀なくされましたが、自治体や保健所とのコロナや災害対応・地域医療構想等協議はWeb会議等も含め可能な限り参画し、各種学術講演会・パネルディスカッション・臨床報告会等も、研鑽機会を絶やさぬよう可能な限りWeb開催で実施させて頂けたかと存じます。

決算関連では、納涼の夕バや忘年クリスマス会、賀詞交換会等が中止、その他会務運営諸経費も余剰となり、昨年の総会でご提案致しましたように「Society Ver5.0」すなわち、“イノベーションを活用した人間中心社会”に求められる“新たな医師会様式”の実現を目指し、医師会事業・業務の一層のICT化推進への設備充実に振り向けさせて頂きました。何卒諸事ご理解賜り、慎重ご審議を賜りたく存じます。

今後も気を緩めること叶わず、社会を支える世代層へのワクチン接種に注力するとともに、西多摩の病床機能や地域特性に応じ、コロナ禍、新興感染症パンデミックに求められる新たな医療提供に、臨機応変に立ち向かう本会としての責務を、皆様とともに噛み締めつつ、ご挨拶とさせて頂きます。



## 2021年度一般社団法人西多摩医師会定時社員総会報告

### 総務部

令和3年6月29日(火)午後7時30分より西多摩医師会館で2021年度定時社員総会が開催されました。玉木一弘会長による開会挨拶の後、仮議長に近藤之暢先生が指名され、近藤仮議長により議長・副議長・議事録署名人の選任が行われました。議長には鹿児島武志先生、副議長には奥村充先生、議事録署名人には井上大輔先生、吉田英影先生が選任されました。会に先立ち物故会員の黙祷が行われ、鹿児島議長の総会開会宣言により議事に入りました。(資格審査：議場出席者26名、委任状提出者102名、合計128名であり、正会員総数207名の過半数104名以上のため総会は成立)

### 報告事項

2020年度事業報告、2021年度事業計画 土田総務部長より説明

2021年度収支予算 鈴木経理部長より説明

### 審議事項

第1号議案 2020年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録につき承認を求める件

承認

鹿児島議長の閉会宣言により定時社員総会は滞りなく終了いたしました。

引き続き2021年度西多摩医師会互助会総会、2021年西多摩医師政治連盟・東京都医師政治連盟西多摩支部総会が玉木一弘会長を議長として行われ、案件は全て承認されました。最後に江本副会長の閉会挨拶で総会は無事終了いたしました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年開催されている懇親会は昨年に続き行われませんでした。

(文責：土田大介)

## 保健所だより

### 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2021年第22週～2021年第30週(5/31-8/1)の間に届出された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

#### (1) 全数報告疾患 届出件数

##### 〈二類感染症〉

- ・結核 5件 肺結核3件、結核性リンパ節炎1件、疑似症1件。年齢は30代1件、70代3件、80代1件。

##### 〈三類感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症 1件 血清・毒素型はO6・VT2、年齢20代、推定感染地は東京都、推定感染経路不明。

##### 〈四類感染症〉

- ・レジオネラ症 1件 肺炎型、年齢は50代、推定感染地は東京都または神奈川県、推定感染経路は公衆浴場。

#### 〈五類感染症〉

- ・アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明
- ・梅毒 1件 早期顕症梅毒 I 期、年齢50代、男性、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触。

#### 〈新型コロナウイルス等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 411件 (疑似症・取り下げ除く)

### (2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第22週	第23週	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週
		5/31～	6/7～	6/14～	6/21～	6/28～	7/5～	7/12～	7/19～	7/26～
インフルエンザ	インフルエンザ (外来)									
小児科	RS ウイルス感染症	1	1	1	2	1	5	12	13	11
	咽頭結膜熱	3	4	3			1		1	
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	6	1		2	2	2		1
	感染性胃腸炎	23	22	24	24	26	32	20	19	12
	水痘		1	1	5	1	2	1	3	1
	手足口病	1	2	1						
	伝染性紅斑									
	突発性発しん	2	3	4	2	3	1	2	1	2
	ヘルパンギーナ							3	1	1
	流行性耳下腺炎	1		1	1					1
	不明発疹症									
	川崎病									
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									
基幹病院	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎									
	クラミジア肺炎									
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)									
	インフルエンザ入院									
	合計	33	39	36	34	33	43	40	38	29

### 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 第30週 (7/26-8/1) 時点

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数が、前週より減少し、感染拡大のピークを超えた可能性があります。

### 3. 情報提供 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き・第5.2版 2021年7月30日

診療の手引き検討委員会 <https://www.mhlw.go.jp/content/000815065.pdf>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 病原体検査の指針・第4版 2021年6月4日

病原体検査の指針検討委員会 <https://www.mhlw.go.jp/content/000790468.pdf>

# 専門医に学ぶ 第150回

青梅市立総合病院 小児科 横山晶一郎

小児の一般診療の中で、発疹を契機に受診する例は多い。今回は、特徴的な発疹を伴ったある疾患の症例をご紹介します。

## <現病歴>

生来健康な6歳8ヶ月男性。

腹部・下肢の発疹および下肢関節痛のため当科を初診。ある疾患を疑われ、外来フォローとなった。初診から10日後、腹痛・血便が出現したため救急外来受診し、翌日入院となった。

## <身体所見>

体温 37.4℃、心拍数 100/分、血圧 134/76mmHg、SpO<sub>2</sub> 96%

下肢を中心にやや隆起した圧迫で消退しない皮疹あり(写真)。臀部、上肢にも同様の発疹がある。胸部聴診異常なく、腹部軟・平坦、臍上正中に圧痛あり、反跳痛なし、筋性防御なし、腫瘤を触知しない。腸雑音正常。



## <検査所見>

WBC 14410/ $\mu$ l (好中球 83.5%、リンパ球 12.5%、単球 3.5%、好酸球 0.3%、好塩基球 0.3%)

RBC 449 万/ $\mu$ l, Hb 12.5 g/dl, Ht 35.5%, Plt 54.1 万/ $\mu$ l

AST 20 U/l, ALT 7 U/l, LDH 161 U/l, TP 4.9 g/dl, Alb 2.4 g/dl, CK 43 U/l, BUN 13.5 mg/dl, UA 3.7 mg/dl, Cre 0.23 mg/dl, Na 132 mmol/l, K 4.0 mmol/l, Cl 97 mmol/l, Ca 7.8 mg/dl, CRP 0.75 mg/dl

PT 13.5sec (PT-INR 1.11), APTT 25.5sec (対照 27.6sec)、Fib 261 mg/dl, FDP 33.5  $\mu$ g/

ml, D-ダイマー 14.1  $\mu$ g/ml

ASO/ASK、補体価、抗核抗体異常なし

検尿 比重 1.030, pH 5.5, 亜硝酸塩(－)、尿蛋白(±)、尿糖(－)、尿潜血(－)

便 軟便にわずかに赤色の血液混入を認める。

腹部 X 線 腹部正中から左側腹部に軽度の小腸ガスの拡張あり。明らかな液面形成や遊離ガス像は指摘されない。

腹部超音波検査 腹水貯留なし、腸蠕動あり、イレウスの所見なし。Target sign なし。

### 問 1. 入院時の所見・治療について正しいものを 2 つ選択せよ。

- a. 6 歳として血圧は正常である。
- b. ステロイド投与が行われる。
- c. 緊急手術が必要である。
- d.  $\gamma$  グロブリン投与が行われる。
- e. 尿所見の経過観察が必要である。

### <入院後経過>

絶食、補液、H2 ブロッカー、ステロイド静注、降圧薬にて治療開始した。腹痛、血便は改善傾向となったが、入院 10 日目ごろから蛋白尿が出現して徐々に増悪し、23 日目には経過中最大値の尿蛋白定性(4+)、定量 7.77 g/gCr、尿潜血(2+)となった。腹部症状は軽快したためステロイドは漸減の後 22 日間で終了した。以後、尿蛋白は徐々に減少し、入院 1 ヶ月半後以降は 1g/gCr 台となった。TP/Alb は入院 1 ヶ月後の 5.8/3.0 g/dl を最低値として回復傾向となった。経過中、クレアチニンの有意な上昇はみられなかった。その後降圧薬は終了したが血圧上昇なく、腹部症状の再燃や蛋白尿の悪化もなく、入院 55 日目に退院となった。

### 問 2. この疾患の腎合併症について正しいのはどれか。

- a. 大部分の例では進行し末期腎不全に至る。
- b. 有効な治療法はない。
- c. 組織は IgA 腎症と同様である。
- d. 腎合併症の頻度は約 5% である。
- e. 血尿を認めることはまれである。

### <解説>

診断；IgA 血管炎（ヘノッホ・シェーンライン紫斑病、アレルギー性紫斑病）、紫斑病性腎炎

IgA 血管炎は 10 歳以下の小児期に比較的高頻度にみられる血管炎で、正確な病因は不明であるが感染症の関与が疑われている。主な症状は皮膚症状（隆起性の紫斑、診断基準に含まれる

ため全例)、関節症状(関節痛や関節腫脹、約80%)、消化器症状(腹痛、嘔吐、血便など、約60%)、腎炎(血尿、蛋白尿、約20-50%)、その他陰のう腫大・疼痛、中枢神経症状などがある。診断基準は血小板減少や凝固能異常を伴わない紫斑または点状出血は必須で、ほか①腹痛、②病理組織でIgA沈着、③関節炎、関節痛、④腎症状(血尿、蛋白尿)、のうち一つ以上を伴うもの、とされている。検査では病理組織以外は特異的なものはないが、血小板数、プロトロンビン時間、部分トロンボプラスチン時間は正常で、第XIII因子活性の低下がみられる例がある。腹痛を伴う例では腹部エコーで主に小腸粘膜の浮腫や腸重積を認めることがある。

治療は紫斑に対しては安静、消化器症状に対しては腸管安静、鎮痛薬、ステロイド、第XIII因子製剤、関節痛に対しては安静、鎮痛薬などが行われ、腎炎以外の症状は1~2か月以内に自然軽快することが多い。

### 問1. 解答 b, e

- a. 6歳としてはこの血圧は高値(6歳男性のstageII高血圧の基準は126/87mmHg)である。ただし、安静に測定できているかなどの測定条件の考慮は必要。
- b. 腹痛など腹部症状が強い場合には副腎皮質ステロイドの投与(経口・静注)が有効なことが多い。
- c, d. IgA血管炎では(腸穿孔などの外科的合併症などがなければ)手術やγグロブリンの投与は通常行われない。なお、特発性血小板減少性紫斑病(ITP)の治療のひとつにγグロブリン投与がある。
- e. 初診時に尿異常がなくても、数日から1ヶ月程度で腎症状が出現することがある。

尿所見の異常は血尿のみなら通常は経過観察、腎機能低下やネフローゼを認める場合や、蛋白尿が持続的に認められる場合には腎生検を行って治療方針が決定される。

本症例では、入院中に蛋白尿が改善傾向となったため外来フォローとなった。退院前に専門施設にも受診していただいた上で1.0 g/gCr以上の蛋白尿が半年以上あるいは0.5~1.0 g/gCrの蛋白尿が1年以上持続する場合は専門施設にて腎生検を行っていただく方針としたが、退院2ヶ月後には尿蛋白は陰性化し、経過観察を継続している。

### 問2. 解答 c

- a. 腎炎を合併しても小児は成人例と比較して軽症で自然軽快することが多いが、永続的な腎機能障害を来す例もあり注意が必要。
- b. 組織の重症度に応じて、抗血小板薬、カクテル療法、ステロイドパルス療法、シクロスポリン療法などが行われる。
- c. 腎の病理組織はIgA腎症と同様で、腎外病変の有無により鑑別する。
- d, e. 腎症状は約20-50%にみられる。血尿の頻度も多い。

## 糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

### 西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当検討会では2018年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【糖尿病専門医による症例提示】を企画しております。今回は、青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科部長 足立淳一郎 先生に症例提示をお願いいたしました。皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

**「薬剤アドヒアランス不良の2型糖尿病患者に持効型インスリン・GLP-1 受容体作動薬配合注射液が奏功した1例」 青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 足立 淳一郎**

*Take home message* アドヒアランス不良な患者では治療をシンプルにすべきである。

【症例】72歳、女性 【主訴】なし

【現病歴】20年来の2型糖尿病患者で、当院への通院自己中断を繰り返していた。X-12年に急性心筋梗塞で当院に入院し、インスリンが導入された。以後も血糖コントロール不良のため3回の入院歴があった。SGLT2阻害薬・Weekly GLP-1受容体作動薬、強化インスリン療法で治療を続けていたが、食事療法・薬物療法の遵守が困難で、随時血糖170 mg/dl、HbA1c 9.9%と血糖コントロール不良だった。X-1年4回目の血糖コントロール目的で入院した。

【既往歴】陈旧性心筋梗塞、高血圧症、脂質異常症、両側人工内耳植込術

【家族歴】糖尿病の家族歴なし

【生活歴】喫煙・飲酒なし、週3回せんべい1、2枚を間食する、娘と同居。

【体重歴】20歳時60 kg、最大体重27歳時84 kg

【常用薬】イプラグリフロジン、バイアスピリン、オルメサルタン、ニフェジピン、ピソプロロール、ロスバスタチン、ドキサゾシン、ウルソデオキシコール酸、インスリンリスプロ各食前6単位・インスリングルルギン 朝食前6単位、デュラグルチド 0.75mg 週1回

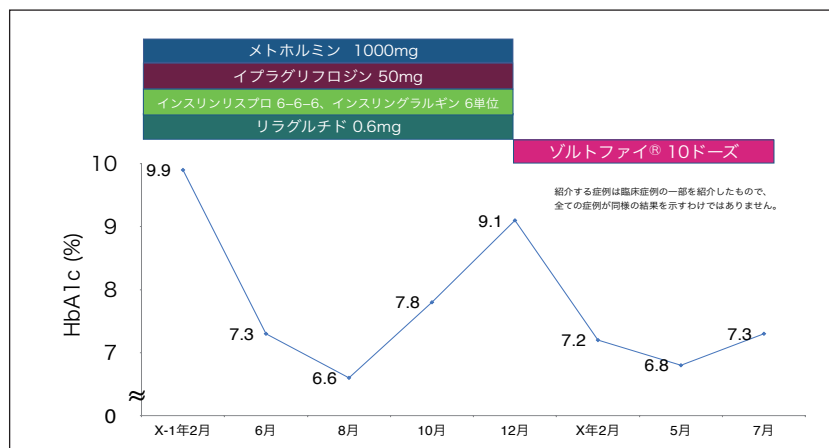
【現症】身長153 cm、体重68.4 kg、BMI 29.2 kg/m<sup>2</sup>

【入院後経過】長谷川式簡易知能評価スケールは24点と認知機能低下は認めなかった。内因性インスリン分泌能は、血清Cペプチド3.0 ng/mlと保たれていた。インスリン増量し、糖毒性解除後にデュラグルチドからリラグルチドに変更した。最終的にメトホルミン1000mg・イプラグリフロジン50mg・グルルギン朝8単位、リラグルチド朝0.6mgで退院した。血糖悪化の原因は、間食・怠薬の影響が考えられ、一包化・カレンダー配薬し、服薬アドヒアランス向上に配慮した。

【糖尿病合併症】単純性網膜症・腎症2期・神経障害あり、虚血性心疾患の既往あり

【退院後経過】退院後は一時HbA1c 6%台まで改善したが、すぐに血糖コントロールは悪化した。内服薬は飲み忘れが多く、注射製剤も2種類は打てなかった。リラグルチドは効果があったため、ご家族・ご本人と相談しデグルデク・リラグルチド配合注射液（ゾルトファイ®）10ドーズのみに変更した。その後、血糖コントロールは安定した（図）。





【症例のまとめ】服薬アドヒアランス不良で、血糖コントロールが改善しなかった。GLP-1 受容体作動薬により、過剰な食欲の抑制は認められたが、インスリンは必要な状態であった。患者により注射は毎回打てるが、内服薬は飲み忘れが多いという場合もある。服薬アドヒアランス不良の患者では、合剤など治療をシンプルにすることで血糖コントロールが改善することもある。日々の診療で治療を見直していくことが重要である。

◆学術講演会予定

令和 3. 8. 24

開催日	開始～終了時間	会場	単位数	カリキュラムコード	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
9.10 (金)	19:00 ~ 20:25	【Web 講演】	1	19	骨粗鬆症地域連携講演会 オンラインセミナー 【講演 1】 「当院の骨粗鬆症リエゾンサービスについて part1」 【講演 2】 「当院の骨粗鬆症リエゾンサービスについて part2」 【講演 3】 「骨粗鬆症治療と腎障害」 【特別講演】 「骨粗鬆症の薬物治療 - 骨形成促進薬の適応と効果を中心に -」	骨粗鬆症看護外来 慶友健康寿命延伸センター 宇沢整形外科 看護部 多田 昌子 先生 骨折リエゾンサービス (KLS) 慶友健康寿命延伸センター 慶友整形外科病院 理学療法士 加藤 啓祐 先生 公立福生病院 薬剤師 奥山 和哉 先生 慶友整形外科病院 骨関節疾患センター センター長 岩本 潤 先生
9.15 (水)	19:20 ~ 21:10	【Web 講演】	1.5	12 11	西多摩三師会地域医療講演会 【一般講演】 「歯周病と認知症～口腔ケアの重要性」(仮) 【特別講演】 「認知症の正しい理解と予防」	(医社) 山吹会 理事長 小曾木歯科 井上一彦 先生 総合東京病院 認知症疾患研究センター センター長 羽生 春夫 先生
10.7 (木)	19:30 ~ 20:30	【Web 講演】	1	23	Primary Care AF Seminar 【特別講演 1】 「最近の糖尿病治療について」 【特別講演 2】 「循環器内科医からみた糖尿病治療戦略について～欧米と日本のガイドラインの比較も含めて～」	樋口クリニック 院長 樋口 正憲 先生 (医社) 悠救会 波多野医院 東京医科大学 地域医療指導教授 波多野 嗣久 先生
10.13 (水)	19:30 ~ 20:30	【Web 講演】	1	52	学術講演会 「P-CAB の登場によって変わりゆく逆流性食道炎診療」	武蔵野赤十字病院 消化器科 部長 中西 裕之 先生



## カナディアンロッキーの思い出 2

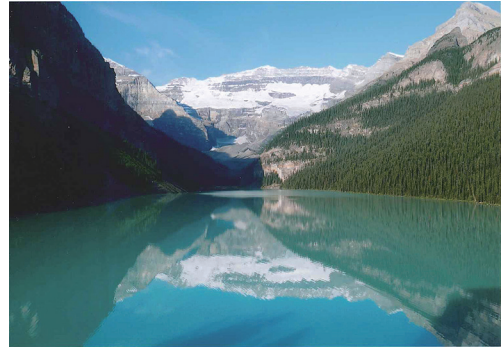
羽村市 小作駅前クリニック 奥村 充

レイクルイーズは、カナダでも人気の観光地です。カナディアンロッキーの山が連なり、湖、氷河が点在し、その美しい景色に魅了されます。レイクルイーズは氷河湖で、その周りにはいくつかのハイキングコースがあります。天気恵まれ湖面に波がなければ、湖の奥にある氷河で被われたビクトリア山 (3459m) が、湖面に映し出されます。その姿は、ことばで表せない絶景です。前回のカナディアンロッキーの思い出 1 に続き、レイクルイーズの私が好きな絶景ハイキングコースを紹介します。

### (2) レイクルイーズ → プレイン オブ シックス グレイシャーズ

レイクルイーズを出発し、湖に写っているビクトリア山とその周囲にある氷河を見に行くコースです。ホテルを出て、右へ湖沿いの道を湖の奥へと進みます。レイクルイーズの青みがかった乳白色の湖面がとてもきれいです。湖の奥に到着しました。湖には、氷河の溶け出た川が流れ込んでいて、湖の奥は、氷河から運ばれてきた泥状の堆積物があります。このあたりは、岩が散財していて、岩の隙間はリスたちの住処になっています。リスは、人を怖がらず近くに寄ってきて、おねだりするようなしぐさで、私を見上げ、愛想をふりまっています。右手には、ほぼ垂直に切り立った岩があり、4人がクライミングをやっていました。

この先は、樹林帯となり、氷河を源頭とする川に沿って登っていきます。少し進み、樹林帯をぬけると前方にビクトリア山と氷河が近くなってきました。振り返ると遠くにレイクルイーズが見えます。さらに進むと、鳴き声が聞こえてきました。右横を見ると近くの岩の上に立って、一生懸命鳴いているナキウサギがいました。



レイクルイーズ  
湖の奥に見えるのがビクトリア山。  
湖面にビクトリア山が映し出されている。



ビクトリア山と上段のビクトリア氷河  
ビクトリア山の山頂はガスがかかって見えない。



ビクトリア山と下段のビクトリア氷河

氷河から流れてくる川に沿ってさらに登っていくと、ティーハウスに到着です。周囲はお花畑です。色とりどりの花がみごとに咲いています。近くには、6つの氷河を望む展望場所があります。ここからは、ビクトリア山とその周囲の氷河がきれいに見えます。ここから先の道は細くなり、やがてガレ場（大きささまざまな大きさの石が混在している場所）になります。最後はガレ場の急登となり、ビクトリア山とビクトリア氷河が迫力でせまってくるビューポイントに到着です。ビクトリア山は、氷と雪で覆われた岸壁の様な存在です。ここからのビクトリア山とビクトリア氷河の眺めは、まさに絶景ハイキングのハイライトです。氷河からの冷風は、熱くなったからだを冷やしてくれて、とても気持ちいいものです。

## 広 報 だ よ り

### コロナ禍の東京五輪～相反する思いを胸に

あぎるの杜きずなクリニック 小高 哲郎（こだか てつろう）

コロナウイルスが猛威を振るう毎日を皆様はいかがお過ごしでしょうか？お盆の帰省などの影響もあり、西多摩にも都心からの流入により、コロナウイルスの脅威が日に日に増しているように感じます。診療所はコロナワクチン接種と発熱外来の両立はなかなか困難であり、日々の診療は多忙を極めていることと推察しています。

そんな中、東京五輪が開幕し、閉幕しました。当初、秋川渓谷にも多くの観光客が訪れることが期待されていたため、無観客開催となって、更に緊急事態宣言発令中ということもあり、ひっそりとした五輪期間でした。もちろんコロナウイルスの猛威は増している状態であり、緊急事態宣言が出ている割には、人が多く出ている印象はあり、ここに海外旅行客が来ていたことを想像すると恐ろしく、無観客開催は妥当な選択だったのかもしれない。

僕は、もともとスポーツで称賛されるような立場になったことはありませんでした。小学校のときから、サッカー、野球、剣道、ボートなどに励み、あと1歩というところで勝者になることはありませんでした。そのため、アスリートを素直に応援できないところがあり、以前からプロアスリートは優遇されすぎている、と感じていました。コロナ感染拡大への懸念もあり、今回の東京五輪についても中止でもいいかな、と思っていました。ただ、親としては自分の子供を含め、たくさんの子供達に東京で五輪を見せてあげたい、というもう一つの相反する思いがありました。最終的には、東京五輪はひっそりと開催されたわけですが、多くのアスリートの汗と涙を子供達に見せてあげることができました。

今回の五輪でよかったのは、日本の若者達の逞しさを感じたことでした。コロナ禍で、いろいろな楽しいことを奪われたにもかかわらず、逆境をばねにして栄光をつかんだ若者達をとっても頼もしく思いました。コロナ感染拡大の中、やむを得ず無観客開催となり、きっと誰もが思い描いていた東京五輪とは違ったとは思いますが、若者達の目の輝きを想うと、東京五輪が開催されて本当によかったと感じています。

コロナウイルスの感染拡大がどこまで続くのか不安な毎日ですが、せめて子供達・若者達の将来を壊すことのないよう、コロナワクチン接種を進め、日々の診療に励んでいきたいと思っています。

# 理事会報告

★ Information

6月定例理事会

令和3年6月22日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・井上・鈴木・吉田・中野・野本)

## 【1】報告事項

### (1) 都医地区医師会長連絡協議会報告

資料に沿い、6/18に開催された標記協議会の伝達事項等について説明報告された

### (2) 各部報告

公衆衛生部：6/9に開催された第7回地区医師会感染症担当理事連絡会の内容等について

総務部：6/29定時総会の出席会員数等の状況について

地域医療部：資料により、自宅療養者等に対する医療支援強化事業の開始及び実施体制の概要等について

### (3) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 6/18 定時社員総会開催

福生市 6/15 定時社員総会開催

羽村市

あきる野市 6/21 定時社員総会開催

瑞穂町

日の出町

奥多摩町

### (4) その他報告：

- 「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの迅速な接種のための体制確保に係る医療法上の臨時的な取扱いについて(その3)」並びに「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施における電話や情報通信機器を用いた診療の活用について」

資料により標記の通知内容等について

- 「ロータリークラブからの資材寄付について

6/9福生ロータリークラブより寄贈された医療資材の内容等について

- 自宅療養者(往診・訪問診療)におけるCOVID-19 JMAT派遣の取扱い等について

資料により標記の通知内容等について

- 令和2年度「医療機関における外国人患者の受け入れに係る実態調査」の結果について

資料により、標記に係る調査結果について情報提供

- 新型コロナウイルス感染症に係る宿泊療養事業への医師派遣について(宿泊療養施設の新規開設・閉所等について)

資料により、標記宿泊療養施設の新規開設・閉所等について

## 【2】報告承認事項

### (1) 入退会会員、会員異動について

資料により正会員1名、準会員3名の入会申請が紹介され承認された。また、正会員2名・準会員1名の退会及び異動届1件を紹介・報告

— 承認 —

**【3】協議事項****(1) 「今後の西多摩圏域ワクチン接種について」**

日の出町・JTBからの追加資料により、同町の接種進捗状況、今後の圏域接種推進に向けた提案がなされ、JTBからはワンストップ運営サポートの提案が行われた。各地区からは、現状・今後の接種体制等の状況について報告・情報提供が行われ、追加資料のワクチン残量について認識に相違があること、上記提案に係る人的協力については困難な状況にあるとの認識が示された

**(2) 第26期 組合会議員の選出方依頼について**

資料により、標記都医師国保組合からの依頼について協議。江本副会長に継続就任いただくことが提案され、本人了解もあり、江本先生を選出することが決議された

— 可決承認 —

**【4】その他**

特になし

**7月定例理事会****令和3年7月13日(火)****西多摩医師会館**

(出席者：玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・下村・鈴木・吉田・中野・野本)

**【1】報告事項****(1) 各部報告**

総務部：今年度の「多摩懇」の中止が正式決定された件について

総務部(社会保険担当)：10/13に「市町村国保主務担当者との懇談会」の開催が決まった件について

公衆衛生部(産業医担当)：9/12に「産業医研修会」を開催する件について

**(2) 地区会報告(各地区理事)：**

青梅市 7/2より新「休日・夜間診療所」が稼働した件について

福生市 7/16、2市1町のPCRセンターに係る会議開催予定  
7/20理事会予定

羽村市

あきる野市

瑞穂町 7/20例会開催予定

日の出町

奥多摩町

**(3) その他報告：**

○新型コロナウイルス感染症に係る宿泊療養事業への医師の派遣について(宿泊療養施設の新規開設の延期等について)

資料により、標記に係る都医からの通知内容等について

**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により準会員1名の入会申請が紹介され承認された

また、準会員1名の退会及び異動届1件が紹介報告された

— 承認 —

**【3】協議事項**

(1) スクリーニングPCR検査で陽性となった無症状の施設職員のPCR再検査について

(2) 「介護福祉事業所新型コロナ定期検査陽性者対応の件」について

上記2件の事案に係る現状確認及び情報・意見交換の上、保健所からの定期検査陽性者対応に係る協力依頼について診療・検査医療機関に対し、資料（案）の内容に青梅市の現対応を加筆して協力依頼文書を発出することとした — 可決承認 —

(3) 令和3年度高齢者インフルエンザ予防接種事業について（要望）

資料により、標記行政からの要望について説明・紹介。単価交渉に当たっては、前年迄と同様に西多摩地区の特性を考慮し、三者協単価との差額を30円とした単価で交渉することが承認された — 可決承認 —

**【4】その他**

特になし

**7月定例理事会**

令和3年7月27日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・進藤（幸）・土田・宮城・進藤（晃）・田中・井上・下村・鈴木・吉田・中野・野本）

**【1】報告事項**

(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告

資料に沿い、7/16に開催された標記協議会の伝達事項等について説明報告された

(2) 各部報告

地域医療部：令和3年度高齢者インフルエンザ予防接種事業の接種単価等に係る行政との交渉について、前回理事会の方針通りで交渉が成立した件について資料により報告  
病院部：7/26に開催された「休日・全夜間診療事業実施対策協議会（第1回）」の内容・状況等について

(3) 地区会報告（各地区理事）：

青梅市

福生市 7/16、2市1町のPCRセンターに係る会議開催

7/20定例理事会開催

羽村市

あきる野市

瑞穂町

日の出町

奥多摩町

(4) その他報告：

○精神疾患による入院患者や人工透析患者への新型コロナワクチンの接種体制の確保について  
資料により、標記に係る都医からの通知内容等について

**【2】報告承認事項**

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により、正会員1名の入会申請が紹介され承認された。また、準会員1名の退会及び異動届2件が紹介報告された — 承認 —

### 【3】協議事項

#### (1) 「コロナ第5波感染拡大に伴う三つのお願い」について

診療・検査医療機関への標記発出文書の内容について資料に沿った説明・再確認した

#### (2) 東京都医師会「産業保健委員会委員」の推薦について（依頼）

現状委員の石田信彦先生の承諾を得られたら石田先生を推薦することが提案され可決承認された  
— 可決承認 —

### 【4】その他

〈追加〉

#### 1. 「今後の西多摩医師会理事会用PC設定」について

資料により、標記に係る設定を9月の理事会までに行う予定であること及び今後の活用方法等について説明

## 会 員 通 知

- 会報7-8月号
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 令和3年度第2期西多摩医師会諸会費請求書
- 学術講演会（7/9・8/26）
- にしたまネット講習会（6/25・7/30）
- 「日医かかりつけ医機能研修制度 令和3年度応用研修会（Web講習会）」の開催について
- RSウイルス感染症の報告数の急増に係る情報提供について
- 新型コロナウイルス感染症により亡くなったことが疑われる方の火葬許可に関する取扱いについて
- 「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時間的・特例的な取扱いに関するQ&A」の改定について
- 新型コロナウイルスワクチン接種業務に従事する医療職の被扶養者の収入確認の特例について
- 令和3年度における新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた労働安全衛生法等に基づく健康診断の実施に係る対応について
- 医療施設整備事業等に係る令和4年度事業計画の調査について
- 青梅市立総合病院地域医療連携懇話会(7/21)
- 第4期「東京在宅医療塾」開校に伴う受講者募集のお知らせ
- 産業医研修会（9/12 西多摩）
- 「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を生徒に対して集団で実施することについての考え方及び留意点等について」の周知について
- 「高等学校等における抗原簡易キット配布希望の調査について」の周知について
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 「指定難病に係る臨床調査個人票」の記入上の留意事項等について
- 熱中症予防の普及啓発・注意喚起について
- ポスターを用いた蚊媒介感染症並びにダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進に関する協力依頼について
- 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン供給について（更新情報）
- 「オンライン資格確認」集中導入開始宣言に関する説明会開催及び顔認証付きカードリーダー「機種未定」申込の「機種選定」期間延期について
- 施設基準の届出状況等の報告について
- 青梅市立総合病院より新病院建設工事近隣説明会開催延期のお知らせ
- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた難病・肝炎等の公費負担医療の取扱いについて
- 外国人労働者に対する健康診断問診票について
- 令和3年度東京都ACP推進事業における医療従事者に向けたACP研修の開催について
- 「医療従事者の不在時における新型コロナウイルス抗原定性検査のガイドライン等について」の周知について
- 新型コロナウイルス感染症のまん延の影響に伴う大気汚染医療費助成の有効期間の延長

等について

- 「新型コロナウイルスワクチン 予診票の確認のポイント Ver2.2」について
- 令和3年度「日本医師会生涯教育講座」第II期（9月）の開催について
- 医療機関を標的としたランサムウェアによるサイバー攻撃について（注意喚起）
- 公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業2020年年報及び第65回報告書の送付について
- 令和3年度インフルエンザ情報第1報
- アルファカルシドール錠が安定供給されるまでの必要な患者への優先的な使用等への対応への協力について
- 外国人医療に関するポータルサイトの新設について
- 東京都肝炎診療連携拠点病院が実施する研修の御案内について
- 職場における積極的な検査等の実施手順（第2版）について
- 令和3年7月の緊急事態宣言を踏まえた新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物の円滑な処理等について
- 「日医かかりつけ医機能研修制度 令和3年度応用研修会（Web 講習会）」（第2回、第3回）の開催について（案内）
- 妊婦に対する新型コロナウイルスワクチンについて
- オリンピック・パラリンピック期間におけるワンストップ窓口24時間対応について
- 感染拡大に伴う「自宅療養者等に対する医療支援事業」への再度ご協力をお願い
- 自宅療養者等に対する医療支援事業（酸素濃

縮器貸与事業）の開始予定について

- 西多摩保健所より「濃厚接触者への新たな対応」
- ピースウィンズ・ジャパン「空飛ぶ搜索医療団“ARROWS”」からのビニール手袋無償提供について
- 医療広告規制におけるウェブサイトの事例解説書について
- 信用保証協会によるセーフティネット保証5号の指定期間延長等と医療機関が利用可能な金融支援
- 令和3年度第2回検案業務サポート研修会の開催について
- 審査支払新システムへの移行に伴う現行システムの利用停止並びにオンライン請求における受付・事務点検ASP機能の拡充について
- 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会について
- 令和3年度児童虐待対応研修【専門講座第1回】の開催について
- 令和3年度「医療保険講習会」「医療保険事務講習会」の開催について
- 「がん治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について（令和3年10月1日算定）
- 東京都肝炎疾患診療連携拠点病院第2回医療従事者肝疾患研修会のお知らせ
- 令和3年度西多摩三師会報告・審議事項に関する書面評決承諾のお願い
- 障マル障・乳マル乳・子マル子にかかるポスター掲示について
- 不要になった水銀血圧計・水銀体温計の自主回収の実施について

## 医 師 会 の 動 き

	令和3年8月24日現在		
医療機関数	193	病 院	28
		医院・診療所	165
会 員 数	522	正会員	206
		準会員	316
会 議			
7月8日	第2回西多摩地域糖尿病医療連携検討会		
13日	定例理事会		
15日	在宅難病調整会議		
27日	定例理事会		
8月24日	広報部会（会報編集）		

27日 学術部会

### 講演会・その他

7月2日 学術講演会

#### 【講演】

演題：「糖尿病合併症CKD診療のポイント 西多摩版について」

演者：野本医院 院長

野本 正嗣 先生

#### 【特別講演】

演題：「CKDと腎性貧血 ～病態と治療を考える～」



- 演者：公益財団法人 東京都保健医療公社 多摩北部医療センター 腎臓内科 部長 小林 克樹 先生
- 8日 保険整備会
- 9日 学術講演会
- 【Opening Lecture】**
- 演題1：「理学療法士のOLS活動の関わり」
- 演者：公立福生病院 理学療法士 渡邊 敬幸 先生
- 演題2：「OLSチームにおける薬剤師の必要性」
- 演者：公立福生病院 薬剤師 菊地 諄 先生
- 【Special Lecture】**
- 演題：「骨粗鬆症治療のNew Era」
- 演者：熊本大学大学院生命科学研究部 整形外科学講座 教授 宮本 健史 先生
- 14日 学術講演会  
～ 高血圧治療を考える会 ～
- 【特別講演】**
- 演題：「糖尿病患者における高血圧診療の新基軸」
- 演者：東大和病院 副院長 糖尿病・内分泌科 犬飼 浩一 先生
- 15日 法律相談
- 16日 学術講演会
- 【特別講演】**
- 演題：「変わりゆく糖尿病治療と患者指導のコツ  
～南多摩保健医療圏糖尿病治療マニュアルの変更ポイントも含めて～」
- 演者：(医社) ユスタヴィア 多摩センタークリニックみらい 理事長 宮川 高一 先生
- 【パネルディスカッション】**
- 演題：「高齢糖尿病患者に対する週1回投与の GLP-1 製剤に対する期待  
～医療者と患者さん、それぞれの視点から考える～」
- パネリスト：葉山医院 院長 葉山 隆 先生  
小机クリニック 院長 黒澤 毅文 先生  
樋口クリニック 院長 樋口 正憲 先生
- 30日 Web講演会～にしたまICT医療
- ネットワークシステムについて～
- 8月6日 保険整備会
- 26日 学術講演会  
～西多摩循環器疾患を考える会～
- 演題：「最新の循環器学会ガイドラインを日常診療に生かす」
- 演者：昭和大学医学部内科学講座 循環器内科学部門 主任教授 新家 俊郎 先生
- 役員出張**
- 7月6日 第14回西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議（福生ブロック）
- 13日 地区医師会自宅療養者等に対する医療支援担当理事連絡会
- 16日 地区医師会長連絡協議会
- 29日 第8回地区医師会感染症担当理事連絡会
- 8月6日 東京都地域医療構想会議事前勉強会
- 11日 第9回地区医師会感染症担当理事連絡会
- 24日 東京都地域医療構想会議
- 【入会会員】（正会員）**
- 氏名 松原 弘明 （準→正）
- 勤務先 (医社) 松原内科医院
- 出身校大学 独協医科大学 平成2年3月卒
- 【入会会員】（準会員）**
- 氏名 山口 忍
- 勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
- 出身校大学 帝京大学 平成24年3月卒
- 【退会会員】（準会員）**
- 氏名 今村 仁
- 勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
- 氏名 関谷 恭介
- 勤務先 (医社) 和風会 多摩リハビリテーション病院
- 【廃業・会員種別変更】**
- 氏名 唐橋 善雄 (廃業のため正→準)
- 勤務先 青梅厚生病院
- 【管理者変更】**
- (医社) 松原内科医院
- (新) 松原 弘明
- (旧) 松原 貞一

お知らせ

事務局より お知らせ

保険請求書類提出締切日

令和3年10月(9月診療分) 10月7日(木) 正午迄  
令和3年11月(10月診療分) 11月9日(火) 正午迄  
(締切日以前の提出も可能です)

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を  
毎月第3木曜日午後2時より実施いたします。  
お気軽にご相談ください。

◎相談日 9月9日(木)(第2週)  
10月14日(木)(第2週)  
11月18日(木)

◎場所 西多摩医師会館  
◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
刑事に関するどのようなものでも結構です。  
◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)  
◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注)先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃報

(正会員) 青梅市 濱松皮膚科

院長 濱松 輝美先生(88歳)



去る令和3年7月5日 逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

訃報

(正会員) 福生市 田村皮フ科

理事長 田村 祐治先生(95歳)



去る令和3年8月20日 逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

訃報

(準会員) あきる野市 秋川病院

副院長 植田 英里先生(59歳)  
(院長 植田 宏樹先生 奥様)



去る令和3年8月9日 逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

## 訃報

青梅市 きくち耳鼻咽喉科クリニック  
菊池 孝 先生 ご尊父様

菊池 庸二 様 (93歳)

去る令和3年6月21日 逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



## 表紙のこぼ



## 『初秋の富士』

雪のない富士は絵にならない、新雪間もない姿が一番。

松原貞一

## あとがき



パンデミック疫病と重なり恐らく中止になるだろうと考えられていましたが、デルタ型コロナの荒れ狂うなか200の国が参加し、11000余人の選手が能力を競い合った東京オリンピックが無事に閉会しました。

卓球王国の牙城を崩した混合ダブルス、初出場でいきなり金メダル獲得の女子フェザー級ボクシング、競泳女子個人メドレー200m、そして宿願を叶えた野球、団体フェンシング、ソフトボール、など、目を見張る活躍が多く見られました。さらにスケートボード、スポーツクライミング、サーフィンなどの新種目で10代の若い選手が大活躍し、戦った後にお互いに相手をリスペクトする選

手の態度は画面をとおして観戦した多くの国民に心地よい印象を与えてくれました。

オリンピックに限らず、全ての国際スポーツ競技は個人と国の威信をかけ、世界各国の選手が培ってきた情熱と努力の結晶です。開催の是非さえ問われ1年延期され、さらに観客の声援なき環境下では100点満点ではないが結果よしとせねばならないでしょう。無観客という歴史に残る今大会は中止にせよどちらに転んでも経営的にはマイナスにはなりません。また今回は例年に無く高温多湿の環境の中で倒れた選手もおり、或いは国の事情で他国へ亡命希望を懇願せざるを得なかった気の毒な選手もおり、汚染を誹謗する場違いな発言もありました。

特殊な環境下でのオリンピックでしたが、総じてみれば必死の思いで闘った各国選手の思い、また国内では舞台裏で競技運営を強力かつ円滑に進めたボランティアの皆さんの活躍、開催前に選手を暖かく迎えた各地の自治体の皆さんの協力により、各国から高い評価を得ました。東京大会が国威の発揚に大いに貢献したことは、老若男女を問わず、多くの視聴者に貴重な体験になったと思います。

青梅市 鹿児島武志

一般社団法人 西多摩医師会

令和3年9月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 古川 朋靖

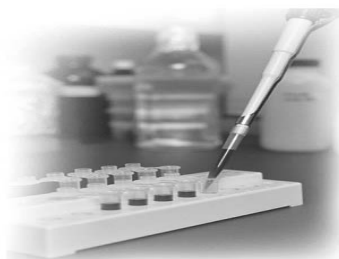
下村 智 土田 大介 鹿児島武志 進藤 幸雄 奥村 充  
近藤 之暢 菊池 孝 三ツ汐 洋 馬場 一徳 小高 哲郎

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

## 生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ  
地域に根ざした検査所として歩んできました。  
高度な技術と最新の設備で地域医療の  
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL ; 04-2964-2621 FAX ; 04-2964-6659

URL ; <http://www.e-musashi.co.jp>

多摩地域で事業を営む皆さまに

提携事業所※従業員様向け

専用ローンがごございます

※たましん従業員サポート制度「Life&Work」にご契約されている事業所が対象です。

- マイカーや教育等、  
ライフイベントに関する  
資金使途に対応
- WEBによる事前審査も可能

RISURU  
©'21 SANRIO APPR.  
NO. L615511



多摩信用金庫

詳しくはお近くのたましんへ

<https://www.tamashin.jp>



福利厚生  
の  
充実に